

高山市水道ビジョン・経営戦略の見直しについて

令和2年3月に策定した高山市水道ビジョン・経営戦略（令和2年度～11年度）が5年を経過し、計画期間前半における事業進捗や情勢変化に応じた投資・財政計画とするため、経営戦略の見直しを行う。

1. 投資計画の見直し 別紙1 別紙2

近年、有収率が年々低下している状況から今年度A Iを活用した漏水リスク（劣化診断）調査を実施した結果、劣化管が約70km存在することが判明した。

これまで管路更新については、設置年の古い導水管や送水管などの基幹管路から優先的に耐震化を実施する方針としてきたが、今回のA I劣化診断調査により新たに配水管の劣化状態が明らかとなったことから、基幹管路等の耐震化整備と並行して配水管の耐震化を進めていくこととする。

なお、災害発生により給水機能に支障をきたす場合に備えて、運搬給水や可搬式浄水機器など仮設設備の拡充を図る。

（1）配水管の耐震化（追加）

A I劣化診断調査で判明した劣化管のうち、特に緊急性が高い約16kmについて、令和11年度までに耐震化を実施する。

（2）基幹管路の耐震化の整備スケジュールの見直し

高山地域については、関連する道路改良事業と同調を図るため、令和6年度までに整備とされていた方針を令和11年度までの整備に変更する。また、支所地域については、舗装工事等と同調を図るため、中期（～令和16年度）までに整備とされていた方針を長期（～令和31年度）に変更する。

（3）施設の耐震強化の整備スケジュールの見直し

人口減少に伴う水需要の変化に応じたダウンサイジングや配水区域の見直しの検討が必要なため、令和11年度までに整備とされていた5施設のうち3施設（山梨配水池、木曽垣内浄水場、瓜巢浄水場）と中期（～令和16年度）までに整備とされていた10施設については、長期（～令和31年度）に変更する。

2. 財政計画の見直し 別紙3 別紙4

- ・最新の人口推計を反映した料金収入
- ・物価上昇を反映した維持管理経費
- ・事業進捗を反映した減価償却費

3. スケジュール

令和7年 3月 策定、公表